

大雨新聞

2026年8月
松山 愛佳

最近、大雨による災害のニュースをよく聞き、不安を感じています。また、私は小学2年生のときに「雲新聞」を書き、雲の種類から天気を考えるようになった。そこで、どのようなどきき大雨が降るのかを詳しく調べることになりました。

大雨を降らせる雲

26年6月13日に北海道内で局地的に大雨が降りました。旭川市ではレベル4土砂災害警報、札幌市などではレベル3大雨警報が出されました。札幌の自宅から雨柱を発見。積乱雲が局地的に大雨を降らせているところから雨柱が見えるのが雨柱です。

積乱雲

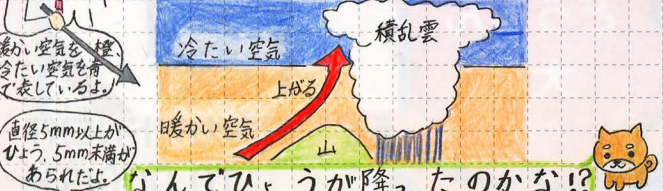
雷雨やひょうを降らせる。30分～60分程度でなくなる。高さ10km以上。

乱層雲

雨を降らせる雲には、主に乱層雲と積乱雲があります。しとしと長く雨を降らせる。灰色の雲。高さ1～7km。

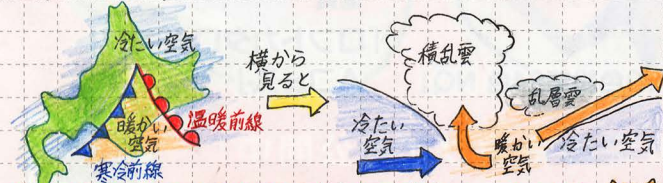
お天気講座 なぜ大雨が降るの？

旭川の大雨やひょうにびっくりした。あれは、大気が不安定だからなんだ。暖かい空気が軽いから上に上がるよ。旭川には山があって、更に上がるよ。その日の旭川の上空には冷たい空気があって、暖かい空気が急激に上がって、積乱雲ができたんだ。



なんでひょうが降ったのかな？ 上空のとても冷たい空気によって水蒸気が氷になるの。その氷が上空に水蒸気がたかり下ってきたの。これが重たくなって落ちてきたのがひょうだよ。ほかにどんなときに雨が降るのかな？

暖かい空気と冷たい空気がぶつかると、天気が悪くなるよ。冷たい空気が暖かい空気を下へ押し、暖かい空気が上へ行く。このとき、暖かい空気が急激に上ると、積乱雲ができて大雨が降るんだ。一方、乱層雲は暖かい空気の流れてできるよ。



大雨は、大気や前線が影響しているんだ!!

編集後記

大雨が不安定なときの天気急変の理由や、大気図の前線から天気を予想できるのかを勉強しました。もっと大気図の読み方を勉強し、天気を知ることが役に立つかもしれません。大雨で命の危険にさらされることがあるのを、防災への理解を深めたいです。

雲で天気予報

巻層雲(ベール状の雲)や巻積雲(らぶらぶの白い雲)を見たら、高積雲(ひつじ雲)が降りそうです。理由は、後雨から暖かくなるから。

浸水

札幌市ハザードマップ

土砂災害

札幌市ハザードマップ

上昇気流が急激に上がると、積乱雲になります。水のつぶがぶつかり合って大きくなり、重たくなると落ちてくるのが雨です。

雲ができてからまで

私は空気! 水蒸気を含んで上昇するよ。

私の温度が下がったわ。

私の中にあった水蒸気が水になったよ。

気圧が下がって大きくなった。

大雨になるのは、積乱雲!!

7月11日も積乱雲が見られ、大雨が降りました。

Q大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

A大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

Q大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

A大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

Q大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

A大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

Q大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

A大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

Q大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

A大雨が降ったけど、土砂災害は起きるの？

気象予報士に聞きました!!